

## 第9回会議で出された意見

### 野宿生活者支援について

- ・アウトリーチの強化  
(個人別に支援の履歴を整理し、今後の支援に活用すればどうか)
- ・支援において行政が間違っただ信号ルを出すことが一番よくない。(扶養照会の扱いなど)
- ・精神障害を抱えた人への支援に工夫が必要(運用はきめ細かく丁寧に)
- ・「福祉丸抱えは嫌だけど、住宅扶助だけは受けたい」とのニーズは多い。
- ・居宅保護への中間形態として、まず「家なし」による無権利状態を解消する施策が必要。

### 居場所について

- ・居宅保護の人がセンターで日中過ごしていることまで、居場所問題で扱う必要はない。
- ・居場所問題に萩の森候補地を活用してほしい
- ・場所だけでなく、そこに集まる機会を設けることで「居場所」が生まれる。  
Ex. 就労、健康診断、相談、余暇…
- ・居場所には「ほっておいてくれる空間を求めている人もいる。(介入されない場所)
- ・職安は紹介業務をするなら、労働福祉センターと同じ時間に施設を開けるべき
- ・禁酒の館の時間延長で、居場所としてどれだけの人を吸収できるのか？